

2006年8月22日

2006年12月期 中間決算説明会

静岡ガス株式会社



目次

I 中間決算の概要	... P 3
II 年間の見通し	... P15
III トピックス	... P19
主要インフラの整備状況	
エリア営業体制	
IV ご参考資料	... P24

配布資料

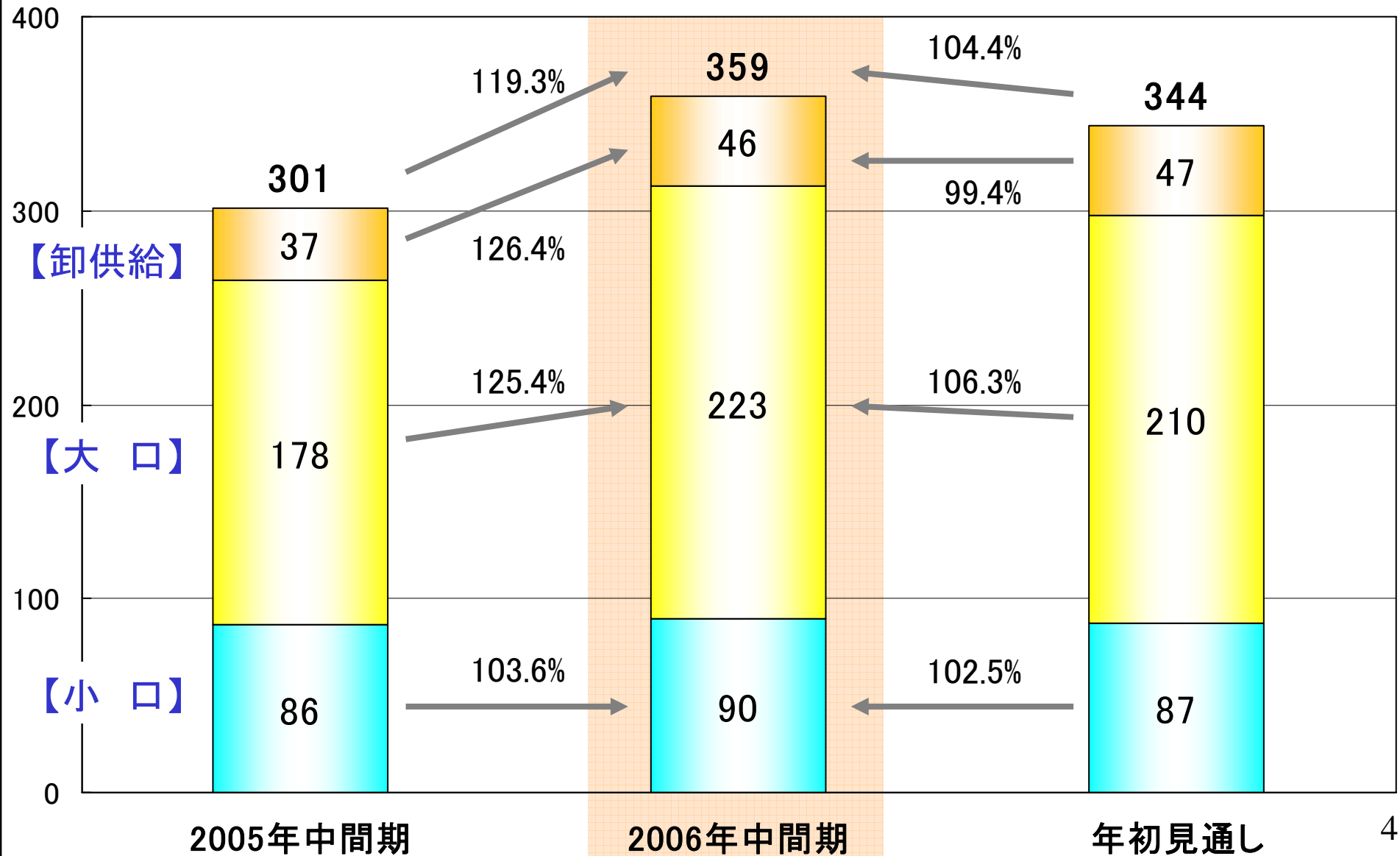
- | | |
|-----------|---------|
| ■ 説明用資料 | ■ 決算短信 |
| ■ 参考データ | ■ 会社案内等 |
| ■ アンケート用紙 | |

注意：本情報は、2006年8月22日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれています。
経済・競合状況等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性が
あります。

中間決算の概要

ガス販売量実績(単体)

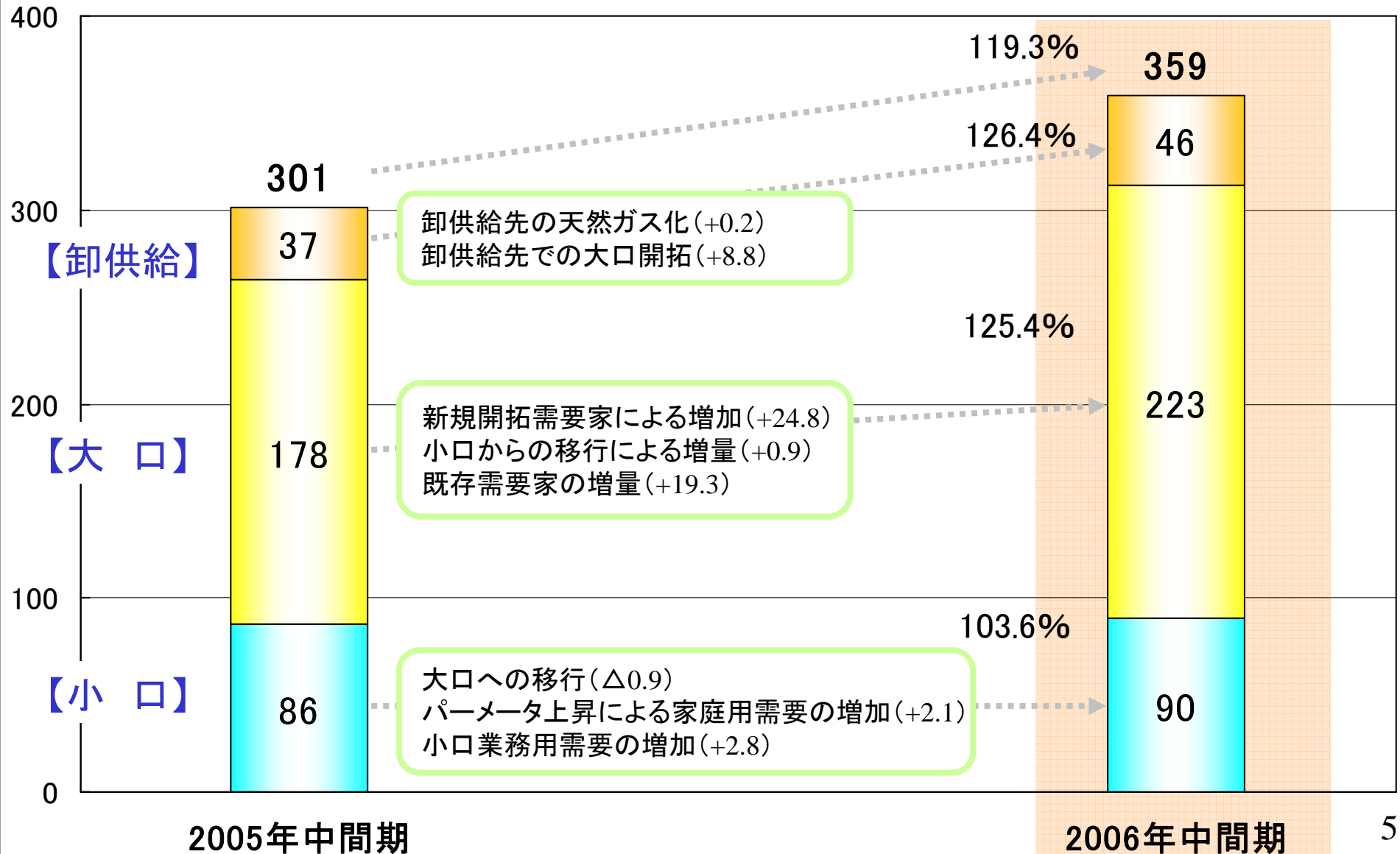
百万m³(45MJ)



ガス販売量実績(単体) 前中間期との比較

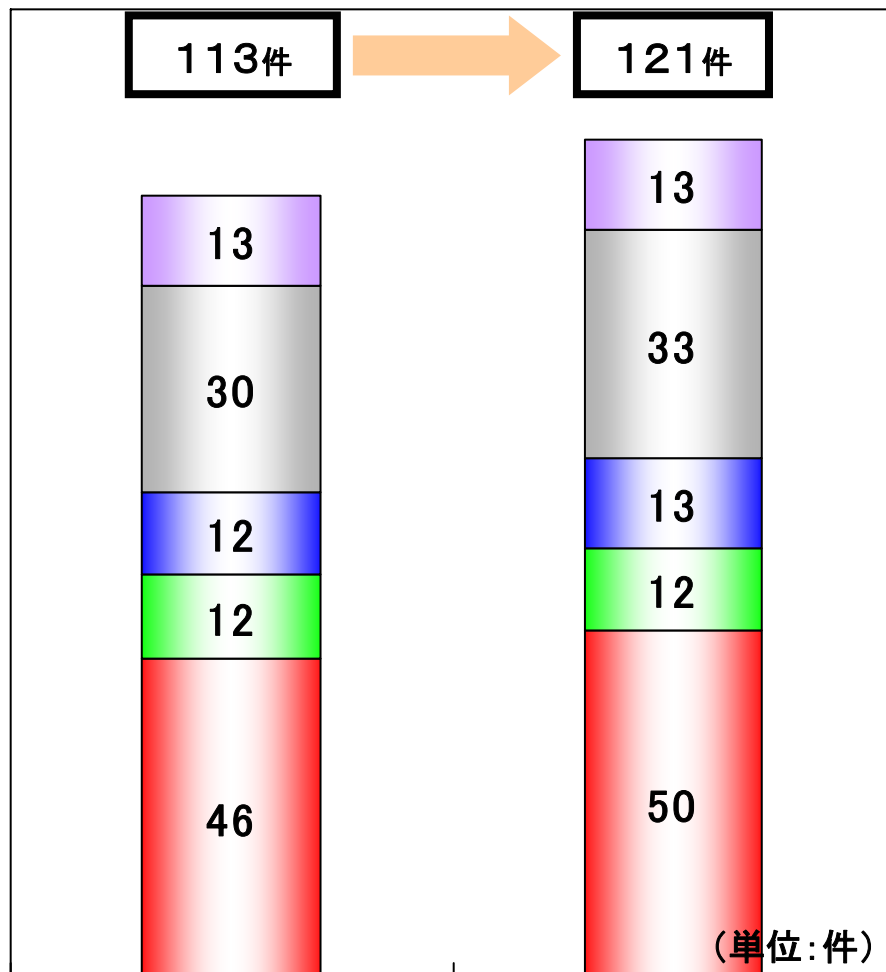
百万m³(45MJ)

()内は、販売量増減(百万m³)を表示

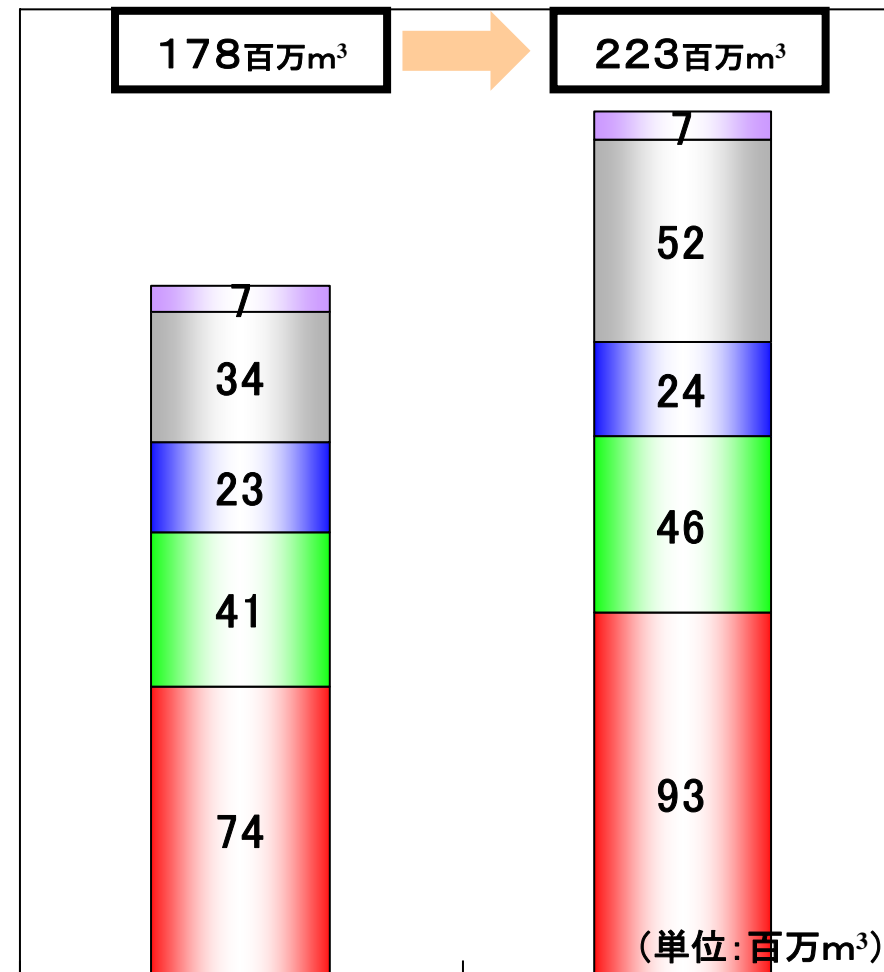


大口実績の推移

【件数】



【ガス販売量】



2005年6月

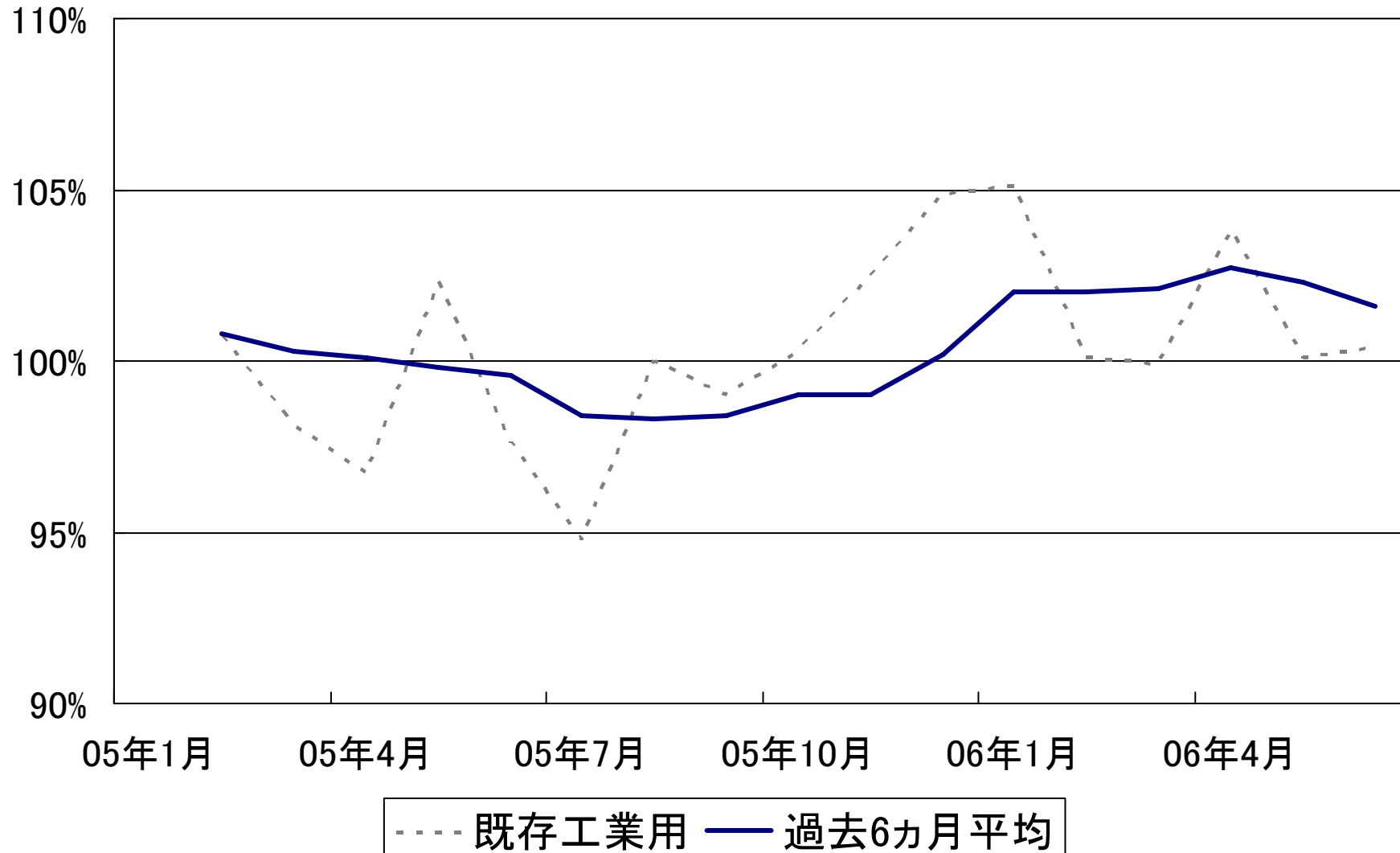
2006年6月

2005年1-6月

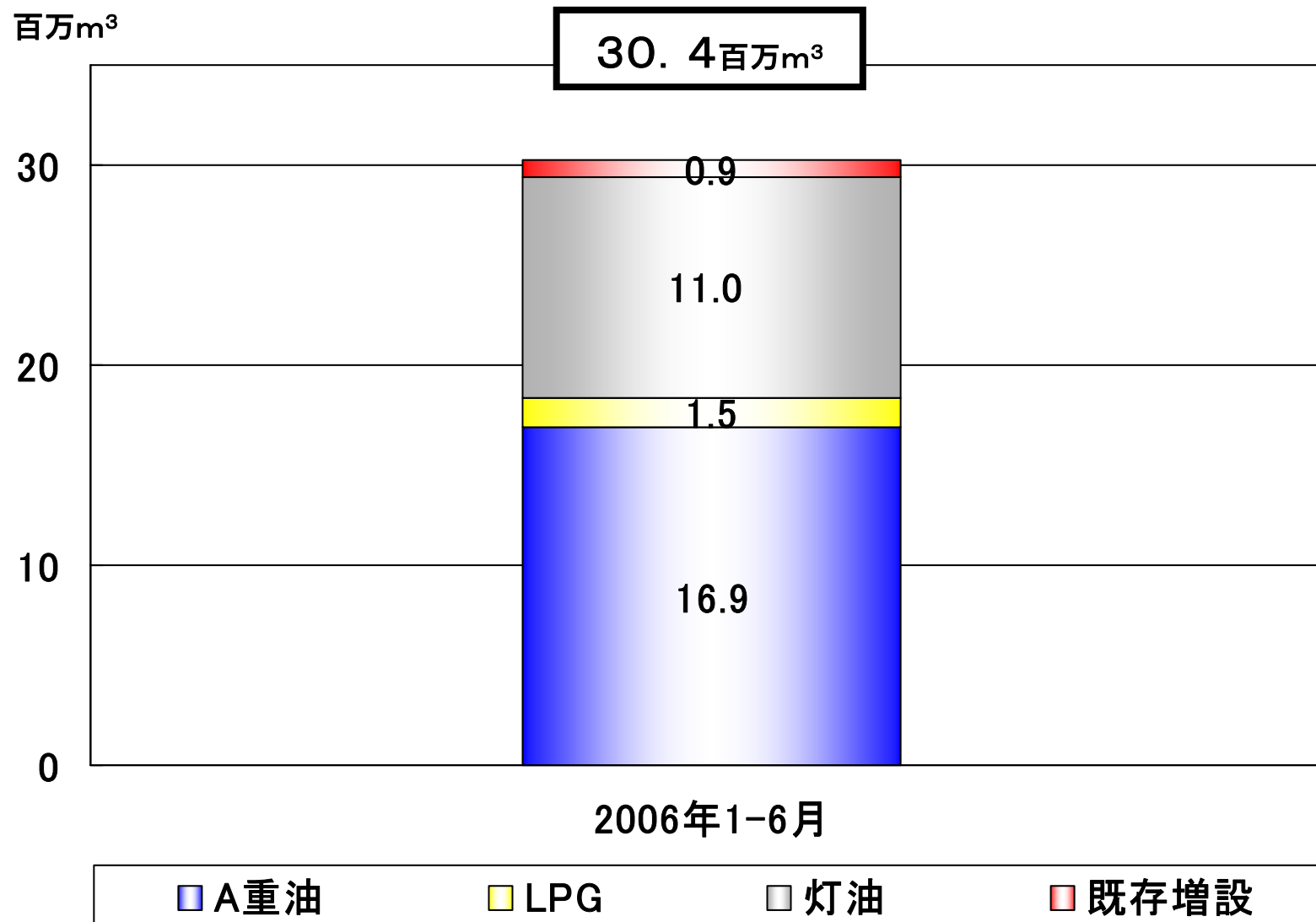
2006年1-6月



既存大口需要家の稼働状況

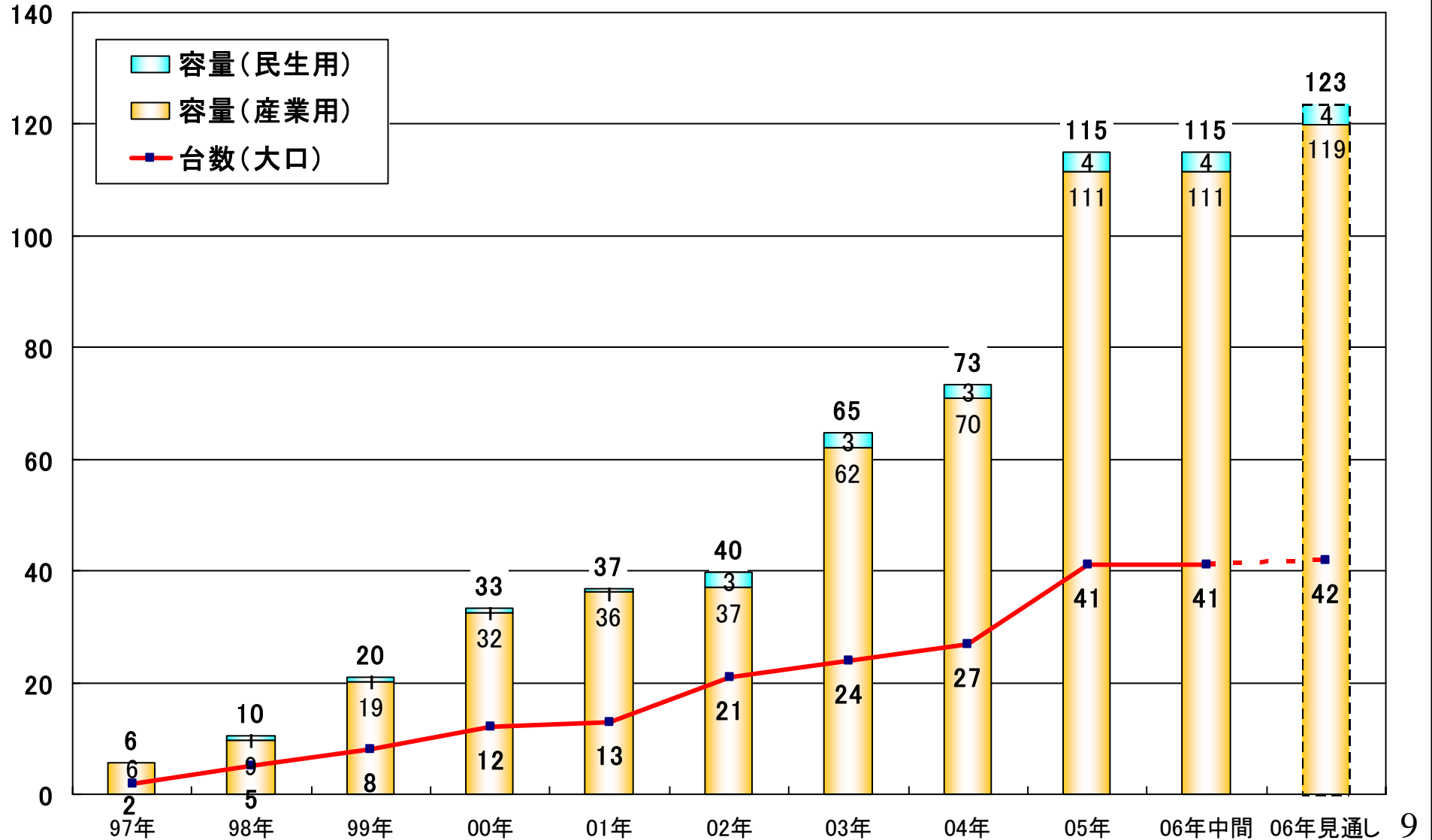


大口産業用開拓の内訳

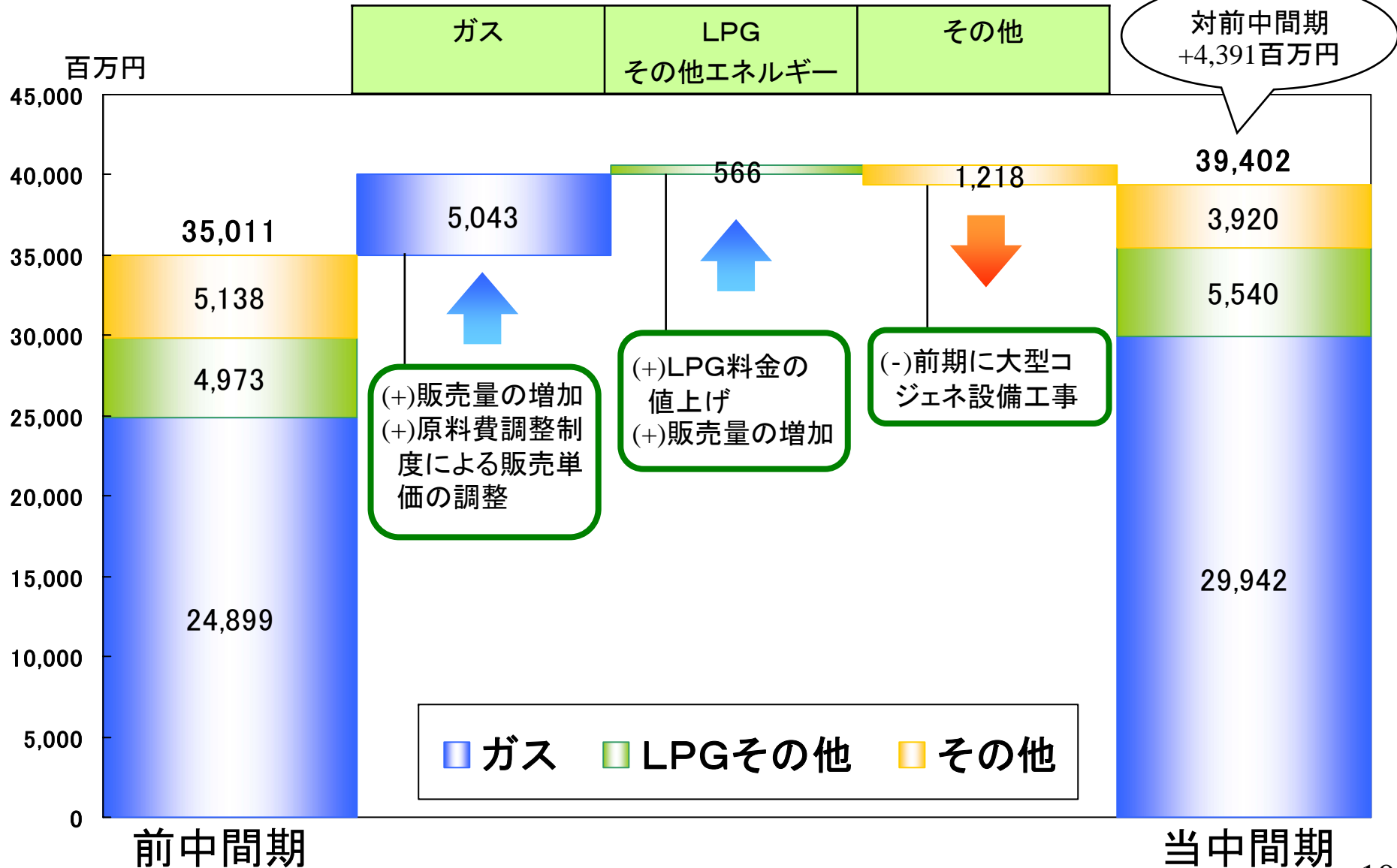


コージェネレーション普及状況(大口部門)

設備容量: 千kW

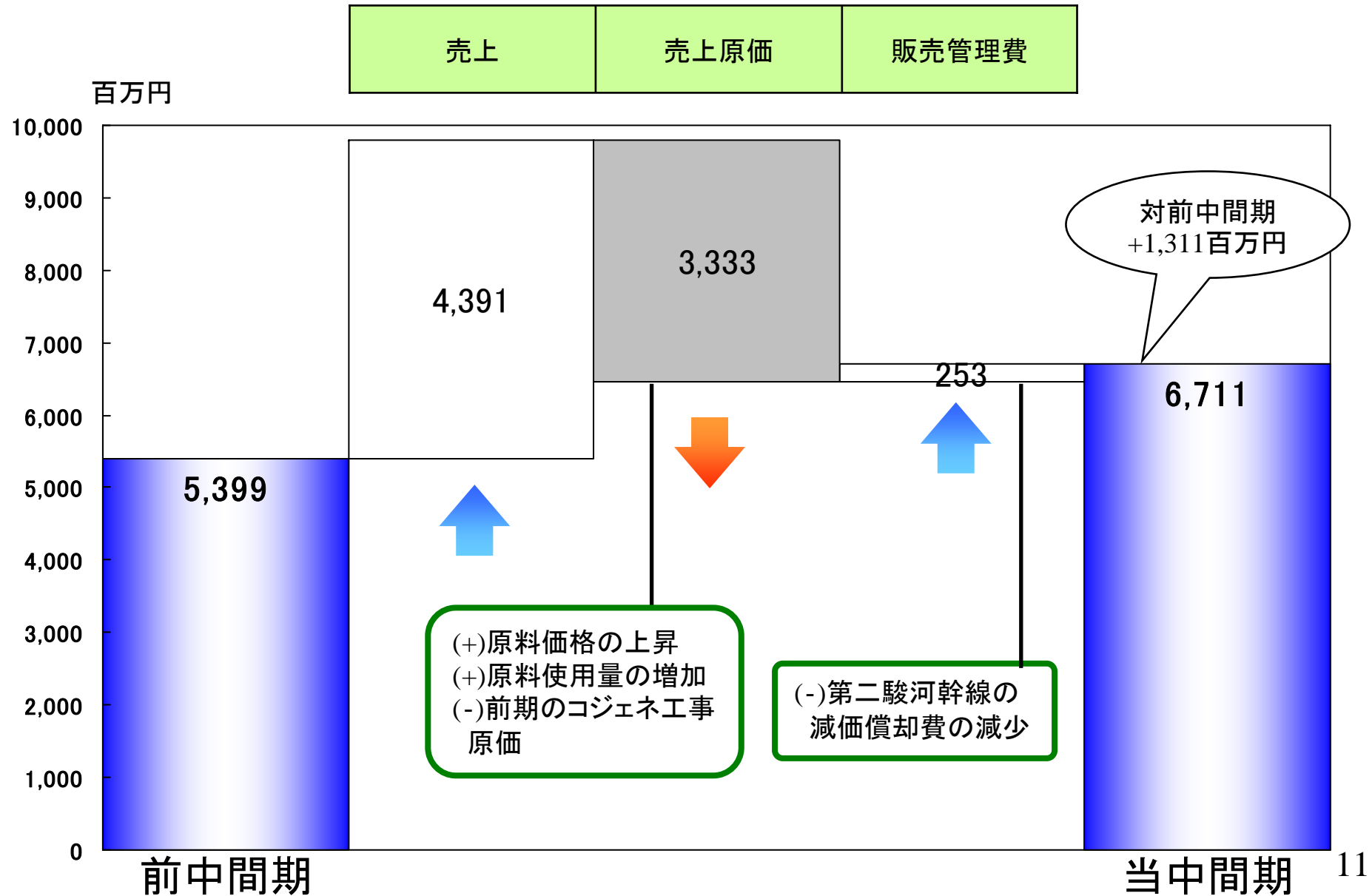


連結売上高(前中間期との比較)

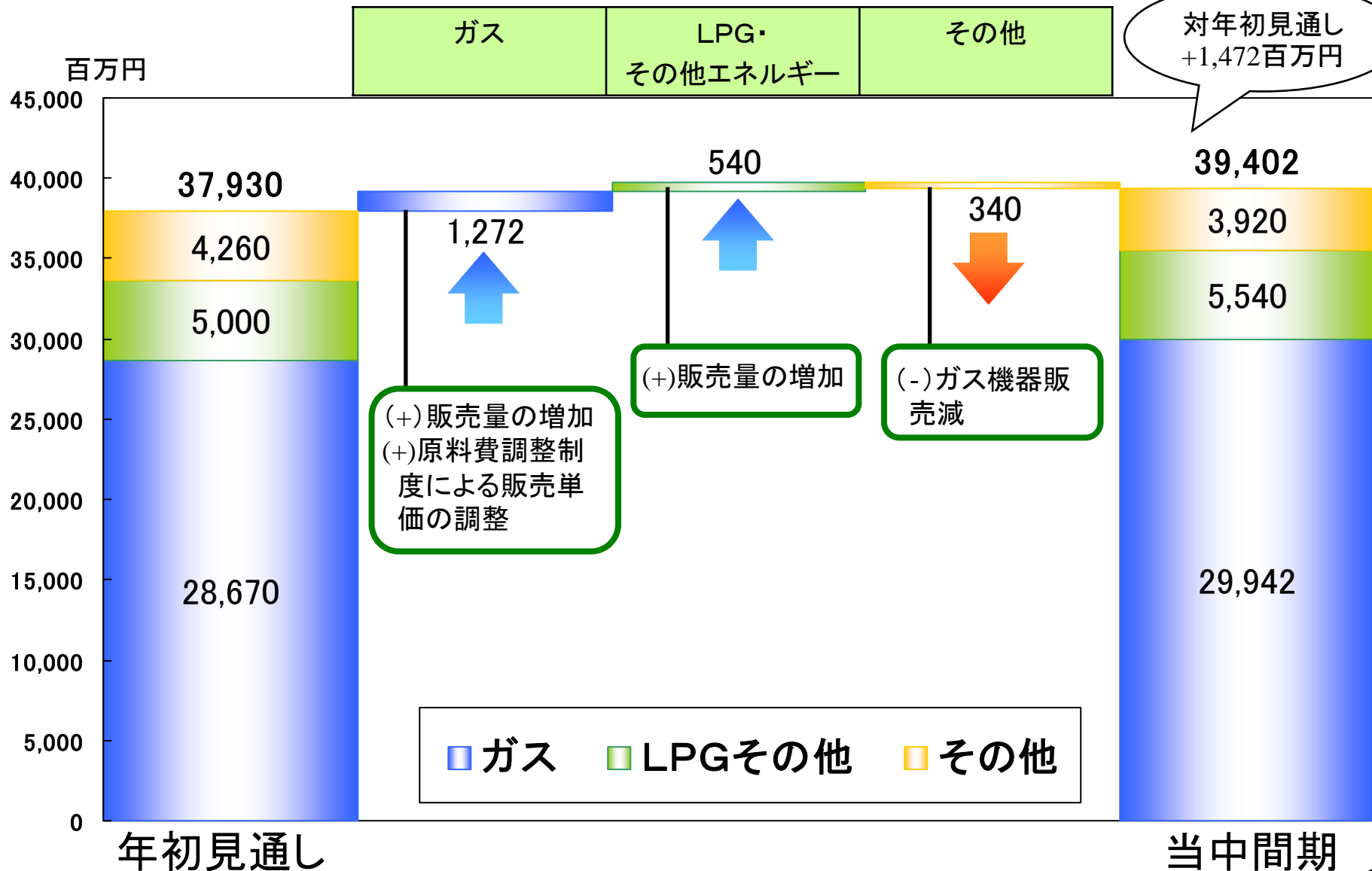


※外部顧客に対する売上高より算出しております。

連結営業利益(前中間期との比較)



連結売上高(年初見通しとの比較)



※外部顧客に対する売上高より算出しております。

連結営業利益(年初見通しとの比較)



連結中間決算の総論

- ガス販売量は、大口需要の稼働や新規開拓が順調に推移したことなどにより、静岡ガス単体で前年同期期比19.3%増加の3億59百万m³。連結では、18.9%増加の3億65百万m³。
- 売上高は、ガス販売量の増加等により、前年同期比12.5%増の394億円。
- 営業利益は、原料価格の上昇等により売上原価は増加したものの、ガス販売量の増加により売上総利益が増加、また、減価償却費の減少などにより、前年同期比24.3%増の67億円。
- 経常利益は、支払利息が減少したことなどにより、前年同期比28.9%増の65億円。
- 中間純利益は、前年同期比34.9%増の38億円。

- 設備投資は、第3号LNGタンク(2009年12月完成予定)や天然ガス拡販のためのパイプライン整備を引き続き実施し、前年同期比44.0%増の41億円。

- 有利子負債残高は、借入金返済が進み前期末比10.9%減の466億円。

年間の見通し

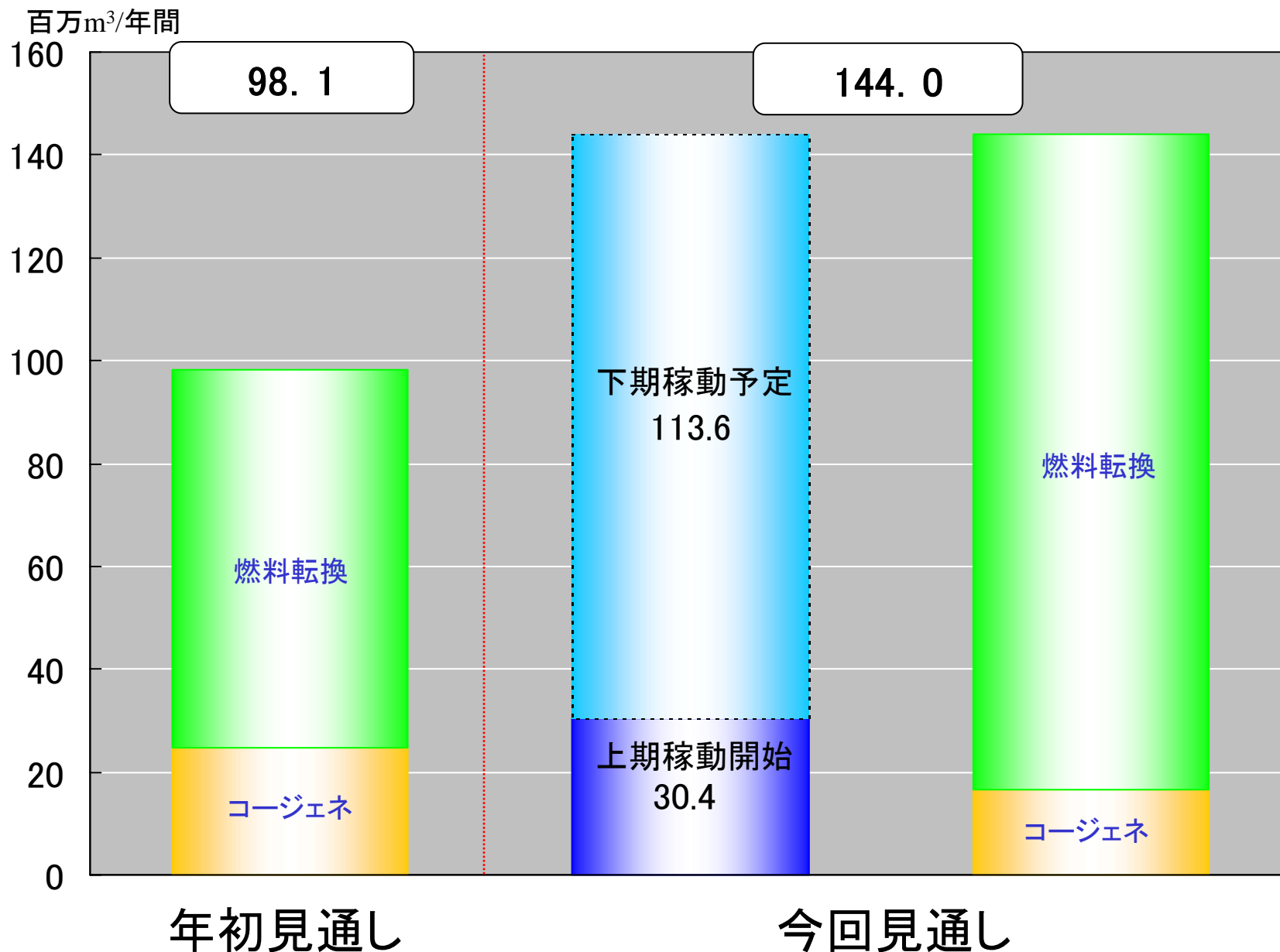
ガス販売量の見通し

単位：百万m³

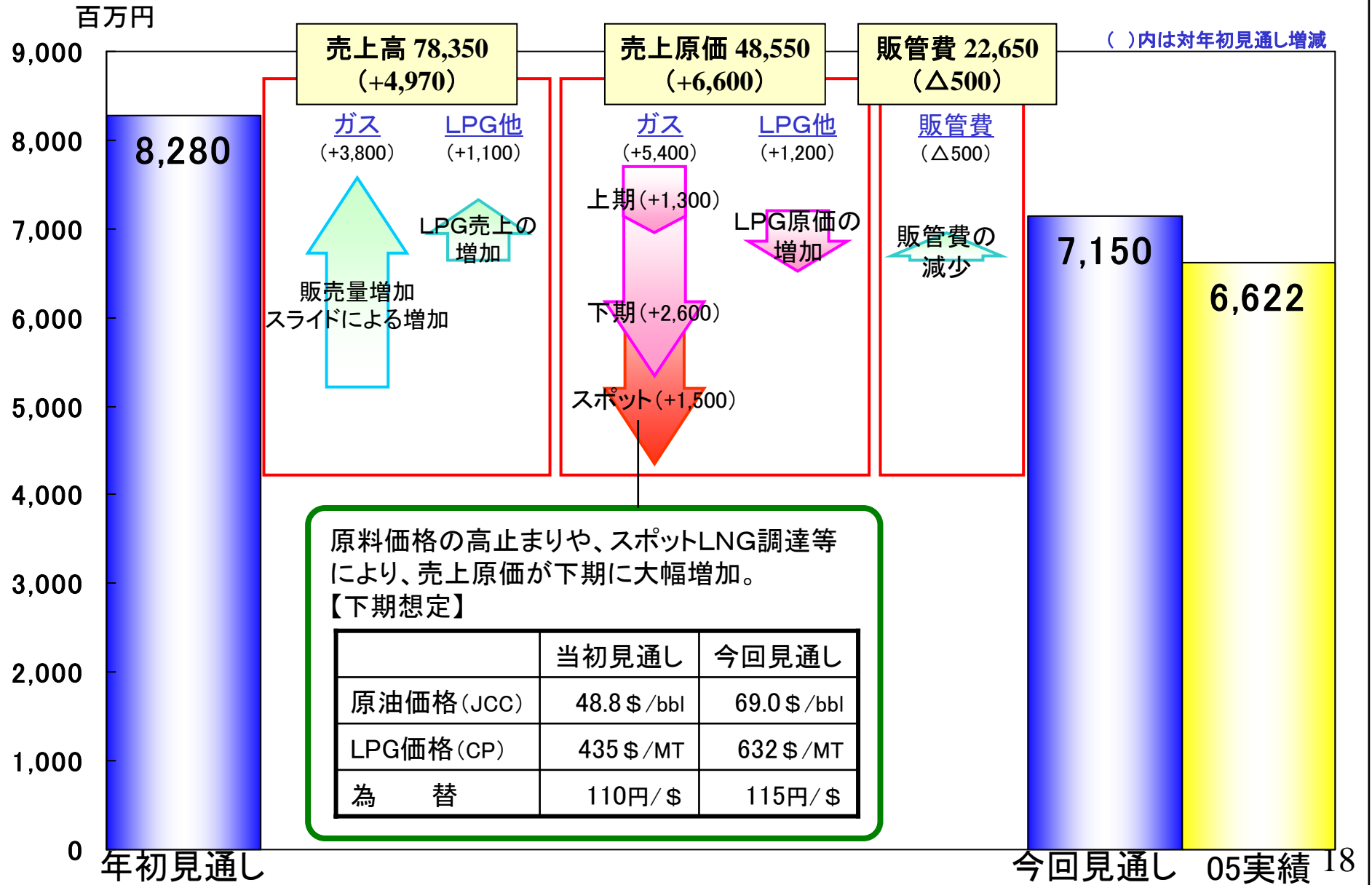
	上期実績	下期想定		今回見通し	
	販売量	販売量	見直し内容	販売量	前年比 (当初見通し比)
大口	223 (+13)	256 (+19)	<ul style="list-style-type: none"> ◆計画外新規開拓による増量(+14.8) ◆年初開拓計画の修正(+4.5) ◆既存需要家の稼働変動(△0.3) 	480 (+32)	127.6% (107.2%)
小口	90 (+3)	74 (±0)	◆当初見通しどおり	164 (+3)	102.0% (100.3%)
卸供給	46 (△1)	51 (+4)	◆卸供給先の順調な大口開拓(+4.6)	97 (+3)	135.1% (104.6%)
合計	359 (+15)	382 (+23)		742 (+38)	121.7% (105.3%)

※販売量下段()内は、年初見通し比増減

大口産業用需要の開拓見込み

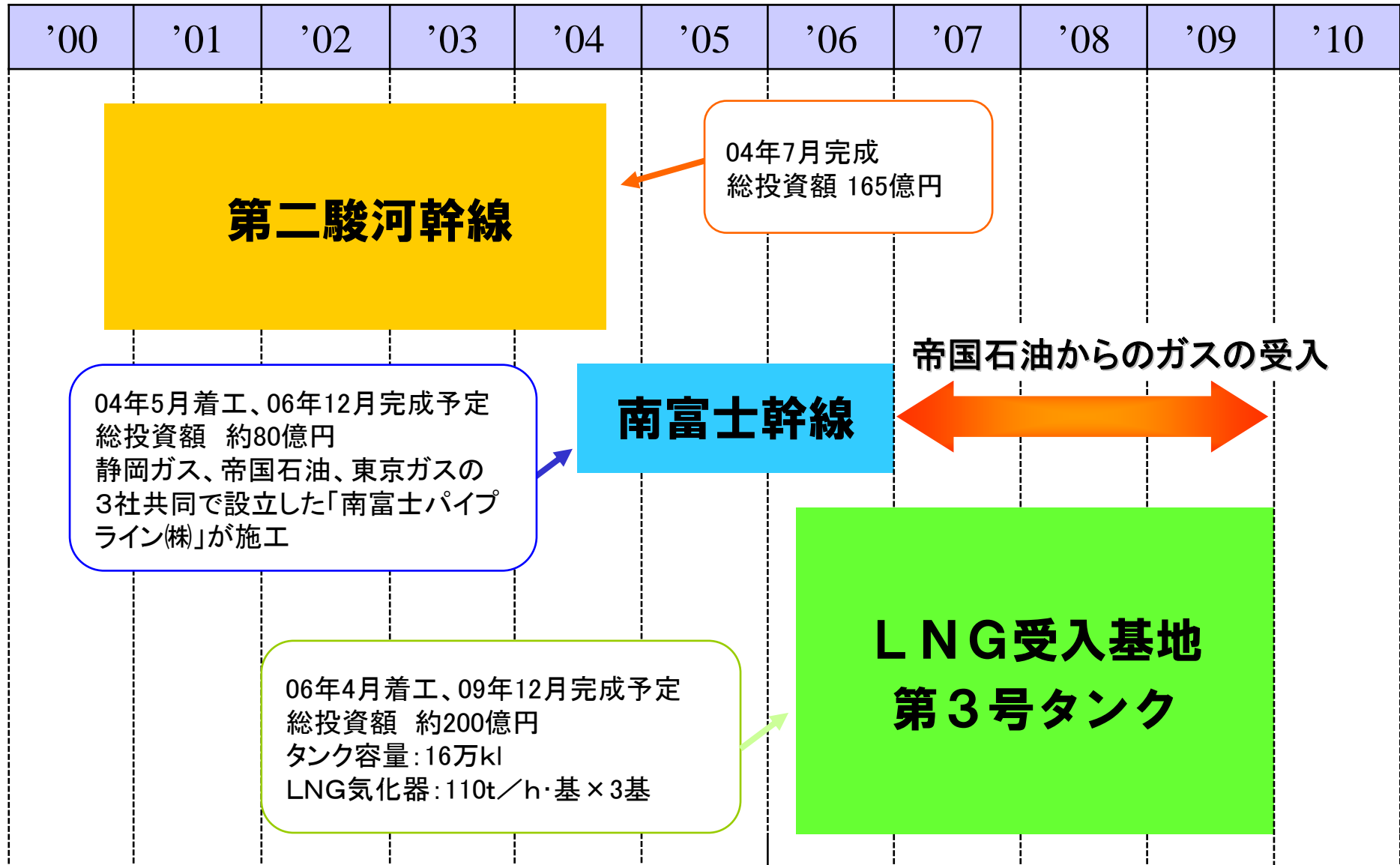


連結営業利益の見通し



トピックス

主要インフラの整備状況



南富士幹線



第3号LNGタンク



エリア営業体制

近くて頼れるガス会社

“ストップ・ザ・電化”
全社一丸、エリアカンパニーと共に。

家庭からガスの良を消してしまう電化への波が急速に進んでいる中、
 家庭用エネルギーの主役へとガスを復帰させるため、
 平成19年1月、12のエリアカンパニーによる「エリア営業体制」をスタートします。
 エリアカンパニーは、ふれあい巡回を通じ、お客さまとの信頼関係をより強固なものにし、
 お客さまの暮らしのよき相棒相手となり、静岡ガスと一体となって
 ガスの創り出す豊かで快適な暮らしをご提案していきます。
 「近くて頼れるガス会社」となり、お客さまに必ずや「やっぱり、ガスだね!」と買ってもらえるよう
 共に戦い抜こうではありませんか。

岩崎清悟

ガスのある豊かで快適な暮らし

ウィズガス

電気に負けるな!

ライフエネルギーパートナー
静岡ガス



ガスセンター山本
 山本 聖二
 沼井 基史

中島 洋明
 寺田 孝弘

清水 伸秀
 志村 保明

高下 清
 奥倉 謙

岡山 義弘
 望月 史彦

井上 典幸
 伊藤 唯立

岩崎 清悟

佐藤 由昭
 渡邊 友彦

山本 聖二
 新山 義賢

溝沢 豊
 池田 忠善

堀田 和隆
 多田 克也

新井 保彦
 小森 崇次

山本 義彦
 福本 義彦

ご参考資料

ガス販売状況(単体)

	06年上期 実績	05年上期 実績	前年 同期比	06年上期 計画	計画比
お客さま戸数 (戸)	314,810	310,691	101.3%	—	—
ガス販売量 (千m ³)	359,228	301,191	119.3%	344,070	104.4%
直売 (千m ³)	312,875	264,510	118.3%	297,415	105.2%
家庭用 (千m ³)	57,914	55,807	103.8%	56,009	103.4%
商業用 (千m ³)	14,549	14,035	103.7%	14,665	99.2%
工業用 (千m ³)	224,139	178,830	125.3%	210,933	106.3%
その他用 (千m ³)	16,273	15,838	102.7%	15,808	102.9%
卸供給 (千m ³)	46,352	36,681	126.4%	46,655	99.4%
うち大口供給					
大口販売量 (千m ³)	223,300	178,082	125.4%	210,002	106.3%
構成比 (%)	62.2%	59.1%	—	61.0%	—
コジェネ台数 (台)	41	36	+5台	—	—
コジェネ容量 (kW)	115,032	86,312	+28,720kW	—	—

※大口供給:年間ガス使用量が50万m³以上のお客さまの使用量

収支の状況(連結)

(単位:百万円)

	2006年上期 実績	2005年上期 実績	前年 同期比	2006年上期 当初見通し	当初 見通し比
売上高	39,402	35,011	112.5%	37,930	103.9%
売上原価	21,882	18,548	118.0%	20,420	107.2%
売上総利益	17,520	16,462	106.4%	17,500	100.1%
供給販売費及び一般管理費	10,808	11,062	97.7%	11,220	96.3%
うち諸給与・諸経費	7,327	7,418	98.8%	7,690	95.3%
うち減価償却費	3,481	3,644	95.5%	3,520	98.9%
営業利益	6,711	5,399	124.3%	6,280	106.9%
営業外損益	-188	-338	—	-350	—
経常利益	6,523	5,061	128.9%	5,920	110.2%
特別損益	137	135	101.4%	110	124.7%
税金等調整前中間純利益	6,660	5,196	128.2%	6,040	110.3%
中間純利益	3,888	2,881	134.9%	3,460	99.5%
為替レート (円/\$)	115.7	105.6	109.6%	110.0	105.2%
原油価格 CIF(JCC) (\$/bbl)	62.4	45.2	138.1%	53.9	115.8%

設備投資等の実績

(単位:百万円)

		2006年上期 実績	2005年上期 実績	増 減	2006年 年間見通し
連結	設 備 投 資	4,132	2,868	+1,263	13,790
	減 価 償 却 費	5,153	5,408	△254	10,690
	営 業 キャッシュフロー	8,934	10,037	△1,103	16,950
	有 利 子 負 債	46,640	54,241 (前期末) 52,335	△7,600 △5,694	53,420
単体	設 備 投 資	2,984	2,027	957	11,730
	減 価 償 却 費	3,247	3,408	△160	6,840
	有 利 子 負 債	32,732	36,060 (前期末) 35,376	△3,327 △2,643	40,250